

⑩ 誰もが親しみ夢が広がるスポーツ

2040年に実現したい姿

【スポーツを通じて地域が固い絆で結ばれている社会】

- ⑦ 誰もが地域の中でいつでも気軽にスポーツに触れ親しみ、ともに楽しみながら健康に過ごし、スポーツを通じて地域が固い絆で結ばれています。

【スポーツを通して府民の感動を呼び、夢とあこがれの持てる社会】

- ① 府内でプロスポーツをはじめトップアスリートのプレーが観戦でき、スポーツを通して府民の感動を呼び、夢とあこがれの持てる社会が実現しています。

【京都府ゆかりのトップアスリートが世界で活躍する社会】

- ⑦ 京都府ゆかりの多くのトップアスリートがオリンピック・パラリンピックをはじめ、世界で活躍しています。

4年間の対応方向・具体方策

府立京都スタジアムを様々なスポーツの拠点とするとともに、中北部地域の交流と観光のゲートウェイとなる取組を進めます。

- 1 国際大会等の誘致に必要な練習会場などの整備を進め、「府立京都スタジアム」において、プロスポーツのほか全国的な大会を誘致・開催するとともに、「京都アイスアリーナ」において、スケート教室やアイスショーを開催するなど、スポーツの魅力を府民が身近に感じられる環境づくりを進めます。
- 2 京都サンガF.C.のJ1復帰を契機に、サンガF.C.と連携し、子どもたちに夢を与え活力の源となる取組を進めるとともに、子どもたちが世界レベルの競技を観戦できる環境づくりを進めます。
- 3 府立京都スタジアムや府内各地域の施設を活用し、ニュースポーツ及びeスポーツの大会開催や練習環境の整備を行うことで、スポーツの裾野を広げます。
- 4 府立京都スタジアムのeスポーツエリアを活用し、大規模なeスポーツ大会を開催するとともに、選手や大会運営などの競技環境を支える人材を育成することにより、「eスポーツの聖地・京都」をめざします。
- 5 府立京都スタジアムにおいて、音楽などの文化イベントや地域資源を活用したイベントを実施するほか、イベント・観光情報を発信するなど、中北部地域における周遊・にぎわいづくりを進めます。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための取組を進めます。

- 6 少子化が進む中においても、子どもたちがやりたいスポーツに取り組めるよう、スポーツ団体等と連携し、京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）を創設します。
- 7 学生スポーツや国際大会にも活用できるアリーナ機能を備えた体育館を整備し、府民が身近にスポーツを感じられる環境づくりを進めます。
- 8 府内の都市公園において、府民が楽しみながら運動ができるとともに、身近にスポーツを体験できる施設等の整備を進めます。

9 府立施設の充実をはじめ、広域的利用や、地域の特色を生かしたスポーツ振興に資する市町村スポーツ施設の整備への支援とともに、企業・大学等のスポーツ施設が一般利用できる取組を進め、府民がスポーツに親しめる環境を充実させます。

10 オンラインも活用しながら、日常的にできる運動（ウォーキングやエクササイズなど）やダンス等を取り入れたスポーツの普及を進めることで、府民の体力づくり、健康づくりを進めます。

11 スポーツを通じて子どもたちが夢やあこがれを持ち、豊かな心をはぐくめるよう、トップアスリートのプレーを身近に観戦したり、体験できる取組を進めます。

12 ツアー・オブ・ジャパンのコースを体験するサイクルルート、府立京都スタジアムを核とした京都丹波エリアを巡るサイクルルート等、府民が身近に親しめるルートを整備するとともに、ネットワーク化により府内を回遊できる広域ルートの形成を進めます。

13 競技団体と連携し、プロスポーツをはじめトップアスリートのプレーが身近に観戦できる大会の誘致に取り組みます。

14 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした、生涯スポーツ・障害者スポーツへの機運の高まりを継続・発展させ、ワールドマスターズゲームズ関西の開催につなげるとともに、大会終了後も、引き続き競技団体やボランティアとも連携しながらスポーツを通じた地域の活性化、交流が継続されるよう取り組みます。

15 地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ（総合型クラブ）を核とした地域スポーツの充実や、地域スポーツをコーディネートするスポーツリーダーの育成に取り組みます。

将来のトップアスリートを発掘・育成するとともに、ジュニア世代からの競技力を強化します。

16 本府を拠点に活躍するトップアスリートの育成に向けて、京都トレーニングセンターにおけるスポーツ医・科学サポート機能を充実させ、トップアスリートの活動を総合的に支える取組を進めます。

17 タレント発掘・育成事業「京のこどもダイヤモンドプロジェクト」を実施し、将来トップアスリートとして国際大会でのメダル獲得をめざすとともに、豊かで明るい社会の発展に貢献できる人材を育成します。